

# 生涯学習センター

## 平成25年度生涯学習関係職員実践講座(課題編)の報告

佐賀県立生涯学習センターでは、生涯学習・社会教育関係職員に必要な知識や実践力を身につける「生涯学習関係職員実践講座」(基礎編・実践編・課題編)を行っています。

11月8日(金)、11月29日(金)の2日間、宇都宮大学の佐々木英和先生を講師にお迎えし、『公民館力を高めるために』～課題の捉え方・評価の活かし方～をテーマに課題編の講座を開催しました。



【講師】 佐々木英和さん  
(宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授)

「社会教育は職員自身が楽しんで喜んでやることが一番大切なこと」そして、教育の持つ本当の意味は「一人ひとりの可能性を引き出すこと」と述べられ、「講座では教わったという意識ではなく、自分たちでやってみようという意識で取組んで」と呼びかけられました。

### 1日目 11月8日(金)

#### 「学習ニーズ」って何だろう? ～必要課題と要求課題を実感・理解しよう!～

公民館職員は型にはまっていないニーズを吸い取るセンスを身につけることが大切。そこで、ニーズという言葉自体が難しいことを意識して、しっかり相手の話を『聞く・聴く・訊く』のトレーニングで、人の話を聞くのは簡単なようで難しいことを感じとる学びを体験しました。



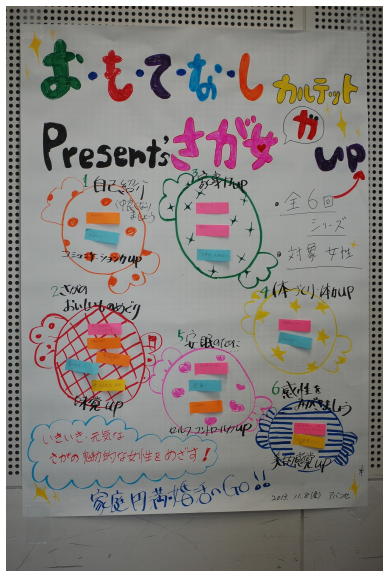
#### 「必要かつ魅力的な公民館事業」って何だろう? ～事業を創って発表して、評価しあおう!～



午後の時間は、対話的雰囲気を活用したグループ学習に取り組みました。一人ひとりの個性を活かした事業づくりにチャレンジ。目標はグループ全員で何ができるかをみつけること。話すと聞くの役割分担を取入れて、引き出しあって・つなぎあって・まとめあげる手順を学びました。



一人ひとりを尊重しあいながら、みんなでつないでひとつの事業を創り上げる。こうしたつながりはまちづくりにも共通する重要なことです。出来上がった事業を1分間でプレゼンし、評価を行いました。(企画力・発想力・魅力をプレゼンでどう表現するかも評価の対象となります)



← 1位を獲得した、 チーム「お・も・て・な・しカルテット」(480KB; PDFファイル)の企画

他のチームからも力作揃いの事業がプレゼンされました。

 チーム「バルーン会場になっ星」(551KB; PDFファイル)

 チーム「チャチャチャDEじえじえ」(490KB; PDFファイル)

 チーム「イモクリナキン」(565KB; PDFファイル)

グループは多様な人との集まりが面白い！  
偶然性の学びがよりクリエイティブな学びにつながる！  
チーム名も魅力的なネーミングを考えました。



#### 受講者の声(講座アンケートより抜粋)

- 時間を短くすることで、より本気モードの企画会議ができることがよくわかりました。
- すべてが新しい発見でした。ポストイットの色使いや採点の差のつけ方などおもしろかった。
- これからの地域づくりで、公民館がとても重要な役割を果たさなければならないことを再認識しました。
- 参加されたみなさんの活動力を感じました。参加者の力を引き出す方法、話法、学ぶことが多かったです。

## 2日目 11月29日(金)

### 「事業計画から事業評価まで」の基本手順 ～現実把握・目標設定・方法選択～

2日目の講座目標は「現実把握」「目標設定」「方法選択」の考え方をしっかり学んで身につけること。そこで、実際にこの考え方を体験するワークに取組みました。「今の私はこうです(現実)」⇒「でも、こうなりたいと思っています(目標)」を個人で書き出し⇒「そのためにこうします(方法)」をグループみんなでアドバイスをしました。さらに、現実、目標、方法の流れを押さえたプレゼンまでつなげ理解を深めていきました。

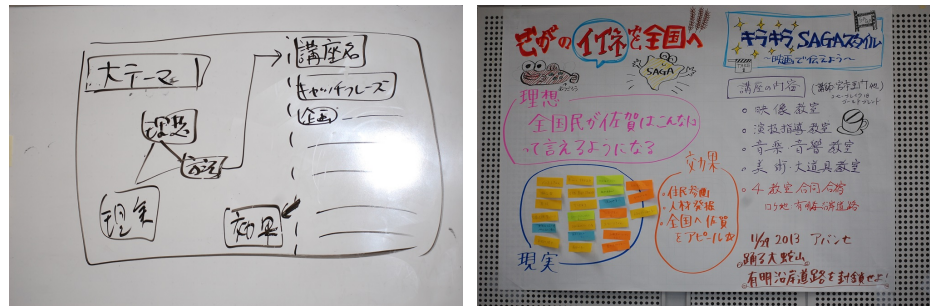


### 「アウトカム評価」を基軸とした評価方法 ～構想力・実行力・実現力～

構想力、実行力、実現力は、公民館職員に必要な3つの力。構想力はアイディアに富んだ人、実行力とはとにかくよく働く人、実現力は結果を出す人。「3つの力が合わさると必ずすごいものが出来上がる」「この力を意識して」と呼びかけられました。



現実、目標、方法の考え方を用いて、地域課題に関する講座づくりに取り組みました。「地域の課題はこんなことでず(現実)」⇒「地域にはこうなって欲しいと思っています(目標)」⇒「そのためにこんな講座をします(方法)」。さらに、『講座をすることで、こんな効果が生れます(効果)』まで考えるワークにチャレンジ。前回同様、プレゼンから評価まで行いましたが、今回は事業予算、講座時間数などの条件まで設定されており、各グループとも時間ぎりぎりまで議論を重ね、全員で講座を創り上げていく姿が印象的でした。



ボード(写真左)に記された企画のひな型が、模造紙(写真右※)のような企画に出来上がりました。  
※写真はみんなの評価で1位を獲得した、 チーム「踊る大蛇山 有明沿岸道路を封鎖せよ」(499KB; PDFファイル)の企画です。



**他のチーム 渾身の企画はコチラ！**

-  チーム「病み上がり決志隊」(496KB; PDFファイル)
-  チーム「佐がくれ精神」(530KB; PDFファイル)
-  チーム「幸せの倍返し」(482KB; PDFファイル)

受講者の声(講座アンケートより抜粋)

- 現実把握、目標設定、方法選択の手順がよくわかりました。
- 身近な視点と自分と離れた問題、話題の気づき、それを具現化する過程を学ぶことができました。
- チームで協力してプランを練り上げることがすごく楽しくできました。
- 実現したい講座ができ、企画へのモチベーションが上がりました。
- 初めは遠慮がちだった意見がどんどん引き出されていき、考えるのが楽しくなりました。

社会教育は人づくり。そして、地域づくりでもあり人間関係づくりでもあります。公民館の仕事にはものすごい可能性があることをあらためて考えさせられた2日間の講座でした。講座で身につけた考え方や手法を、これからの仕事にぜひ取入れていただきたいと思います。

[<< 戻る](#)

